



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和4年4月25日  
学校だより5月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子  
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409  
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>

OPEN  
YOKOHAMA

## つながりを大切に

副校長 中西建介

若葉が目鮮やかに映り、様々な草花が豊かな香りとともに、その美しさを楽しませてくれる季節となりました。新しい出会いや環境の中でも、子どもたちは芽吹く青葉のように自分の力でしっかりと歩み始めています。保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、新年度の学校生活を順調に始められたことを感謝しております。

先週金曜日には授業参観を2部制、懇談会をハイブリット形式で行いましたが、ご協力をいただき、ありがとうございました。集合とオンラインを選択できるハイブリット形式による懇談会は初めての試みでしたが、事前の接続テストや当日の接続も滞りなく行われ、多くの保護者に参加していただくことができました。今後も新型コロナウイルスの感染状況に左右されることなく保護者の皆様と連携が図られるようにしていきたいと考えております。

新年度が始まってから約3週間が経ち、子どもたちの緊張感も少しずつほぐれ、学校生活を楽しむ姿が見られるようになりました。4月8日から14日まで行われた集団登校では、子どもたちの見守りに多くの保護者や地域の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。お子様と一緒に登校して下さる保護者の姿が見られるなど、多くの皆様に支えられていることを改めて実感しました。集団登校の取組を通して、子どもたちは安全に対する意識を高めることだけではなく、起床してから自宅を出るまでの生活リズムを整えることや周りの人たちとあいさつを交わしてよりよい関係を築くことの大切さなど、多くのことを学ぶ機会になりました。登校指導をしていた私も、子どもたちだけではなく、保護者や地域の方からの「おはようございます。」「ありがとうございます。」などの温かな言葉が活力につながり、気持ちよく1日を始めることができました。

登校時に交わすあいさつもそうですが、私たちが生活する上で言葉によるコミュニケーションは欠かせないことではできません。その言葉のもつ意味は、とても重要になります。それは、温かみのある言葉によって励まされたり意欲が湧いてきたり、その反対に冷たい言葉を浴びせられると落ち込んだり自信をなくしたりすることがあるからです。ここで、道灌山学園の創設者である高橋系吾さんの「その一言」という詩を紹介いたします。短い詩の中に、一言の言葉が人の心に大きな変化をもたらすことが表されています。ほんのちょっとした一言が人に大きな勇気を与えたり、逆に人の心を傷つけたりすることから、私たちが使用している言葉には不思議な力があるといえます。まずは、あいさつをはじめとした人と人との温かなかかわりを広げ、学校が子どもたちにとって心地よい空間になるようにしていきたいと考えております。

「その一言」 高橋系吾  
その一言で 励まされ  
その一言で 夢を持ち  
その一言で 腹が立ち  
その一言で がっかりし  
その一言で 泣かされる  
ほんのわずかな 一言が  
不思議に 大きな力持つ  
ほんの一寸(ちょっと)の 一言で

5月には個人面談を予定しています。学級担任から約1か月間の学校生活で見られたお子様の様子をお伝えいたします。保護者の皆様からはご家庭でのお子様の様子をお話いただき、今後の指導や支援につなげていきたいと考えております。ご多用のことと存じますが、ご来校のほど、よろしくお願いたします。季節の変わり目で心身の疲れが出やすい頃ですので、ご家庭でも健康管理にご留意していただき、子どもたちが元気に登校することができるようお願いたします。